



速慶

新潟教区報 第128号
2020 (令和2) 年3月1日発行

新潟教区全戦没者追悼法要

第二十二回平和を誓う念仏者のつどい

社会実践部会委員・長岡組教覺寺住職 毛利一栄

日時 十二月四日(水) 十三時三十分～十六時三十五分
会場 本願寺新潟別院(参加者百五十九名)
テーマ 「戦争の現実く人質事件の真相とシリア内戦の惨状」
講師 ジャーナリスト 安田 純平さん

新潟別院本堂で十二月四日全戦没者追悼法要が営まれ、二度と戦争の惨禍を繰り返さない非戦・平和を願い、念仏者として決意と誓いを新たにしました。

続いてフリージャーナリスト安田純平さんより内戦下のシリアで三年四カ月にあたり拘束された体験を講演していただきました。シリアの複雑な情勢を解析していただき、拘束中には二十四時間動くことも禁じられる期間もありながら「私の身に何かあれば放置しろと妻には言っており、メッセージにはそのことを書き入れました」と、解放までの経過を語っていただきました。

戦場で今、何が起きているのかを伝えるジャーナリストがいるからこそ、わたしたちは非戦・平和の努力を重ねることができると聞かせていただきました。

会場には安田さんの持参による写真とともに「非戦・平和に関するパネル」が展示されました。「焼き場に立つ少年」のパネルは米軍力メラマンが被爆直後の長崎を撮影したのですが、長年封印され被爆直後の長崎を知ってもらうため一九九〇年から公開された写真の一枚です。私たちが歩んできた過去の事実を忘れないための大切なパネル展であったと思います。

新潟教区仏教青年連盟「忘年会」を終えて

仏教青年連盟委員長 三条組西福寺衆徒 皆川 賢太郎

日時 十二月十五日(日) 十六時〜
会場 三条組 長念寺(参加者五十名)
講師 長岡組西福寺住職 藤井 哲雄さん

去る十二月十五日に長念寺様にて仏教青年連盟の忘年会が開催されました。まず初めに、お正信偈をお勤めし、その後長岡組西福寺の藤井哲雄さんから法話を頂戴致しました。その後は鍋を囲んでの懇親会でした。

今は、SNSの発達により顔を合わせなくてもコミュニケーションがとれる時代であり、人と人が顔を合わせて話をする機会が少なくなっているように思います。そんな時代であるからこそ、顔を合わせながら話をするというのがすごく大切なことのように感じました。

だからこそ、気軽に立ち寄って話が出て来るお寺の役割は大きいと気付かされました。

この度の忘年会で、お寺というのはいつでも来られる場所であり、いつでも誰でも話が出来るところであるということを知る機会となりました。また、お寺にも自分の居場所があるということを知ってもらうことも青年教化活動の一つであることを学ぶことが出来ました。



仏青忘年会の様子

与板みんなの食堂

与板地域のコミュニティの再生・食材の無駄をなくし、子どもや高齢者の孤食を防ぐ取り組みである与板みんなの食堂が、毎月第四金曜(例外有)、本願寺新潟別院にて開催中です。

地域の方への案内、食材調達・調理などは全て与板地域の有志の皆さんが行っており、新潟別院は重点プロジェクトの一環として会場の提供などの協力をしています。十二月二十七日に行われた第二回与板みんなの食堂でお話をお伺いしました。

スタッフの今村房子さんは「毎回、若い人たちと一緒に活動するのが楽しく、回を重ねるごとにどんどん楽しくなっています。子どもたちが集まってくれるのも嬉しいです。そして毎回、施設や食材が揃うというのは本当にありがたい事だと思います。一カ月に一回の活動でも準備することや考えること、やることも多いですが、苦にならず楽しみながら活動しています」と話してくださいました。

当日初めて参加されたお母さんからは「子育て支援センターでみんなの食堂の事を聞き、娘と一緒に参加しました。みんなで食べると

ごはんが美味しいです。雰囲気も良く、用事がなければまた来たいです」。娘さんは「風船が楽しかった！」(当日、食事前にバルーンアート体験がありました)と話してくださいました。

最後は食堂でごはんを食べた子どもたちの中から、三人がごちそうさま当番を担当し「おいしいごはんをありがとう、ごちそうさまでした」の声で、二回目の与板みんなの食堂が終了しました。



法話

「願人さん」がんじん

巻組長 嚴寺住職 阿部 慶剛

これは以前本山に勤めていた頃のお話です。職場の先輩に、

「第一に願人さんを大切に下さい。」

「願人さんに対しては、くれぐれも失礼の無い様に。」
などの指導を受けました。

京都本山本願寺には、毎日のように全国からご門徒の方々がご参拝に来られます。その方々のことを本山では、親しみを込めて「願人さん」と呼びます。

「願人さん？」

初めて聞く言葉に戸惑いを感じながら、各人色々な願い事を持ってお参りに来られているから願人さんと呼ぶのだなと思っていました。

しかし、浄土真宗のみ教えを学んでいくうちに、そうではなく、阿弥陀さまの願いをかけられた私たちだからこそ、願いをかけられた人、「願人さん」と呼ぶのだなとわかりました。

阿弥陀さまがまだ法蔵菩薩さまの時、ごこうしゆい五劫思惟の後、「生きとし生ける衆生が仏にならなければ、この私も仏になりません」というご本願を誓われて、阿弥陀さまになりました。

私たちは、常日頃からその様な阿弥陀さまの
大いなる願いに護られて日暮らしをさせていた
だいております。

願う人ではなく、願いをかけられた人、「願人さん」の私たちが、阿弥陀さまのご誓願に報じる為には、常日頃よりぶつとんほうしゃ仏恩報謝のお念仏を申させていただくほがありません。



台風第十九号ボランティア活動報告

与板組光源寺衆徒 清水 正欽

十一月十三日、台風十九号の豪雨の影響で大きな被害を受けた長野県にボランティアとして行かせて頂きました。新潟教区からは私を含めて五名での参加でした。私たちが活動をさせて頂いたのは、正覚寺という真宗大谷派のお寺でした。こちらのお寺から決壊した千曲川の堤防までは数百メートルしかなく、氾濫による本堂や庫裡の被害は想像していたよりも遥かに悲惨なものでした。外壁には濁流が押し寄せた後がくつきりと残っており、その高さは私の背丈よりも高い位置でした。

そのような被害の中、私たちに任せられた作業は、床下に流れ込んだ土砂や泥を掻き出す作業、本堂の裏に運び出された畳や流れてきた様々なゴミを軽トラックに積む作業、墓地に堆積した土砂を表に運び出して山にする作業でした。土砂は水を含んでいても重く、雪かきの感覚でスコップを入れると全く持ち上がりませんでした。

私がお手伝いできたのはたった一日でありましたが、被災された皆さんの今後の生活を考えると胸が痛くなりました。地元の方は復旧までまだまだ人手も時間も足りないとおっしゃっていました。長野の方たちには中越・中越沖地震の際、大変多くの支援活動をいただきました。これから厳しい冬を迎えますが、近いうちにまたお手伝いをさせて頂きたいと思っています。



活動中の様子

寺院巡り

巻組 長善寺

住所 新潟県新潟市西蒲区河井二七〇二
電話 〇二五六―七三―二五四五

当梅香山長善寺の初代浄覚院西心は、越前国南条郡梅香井うめがいの城主、細山越中守長善ながよしであり、蓮如上人に帰依出家する。四代・長善ちやうぜんは、元亀元（一五七〇）年に始まる石山合戦に馳せ参じた。乱が治まって天正八（一五八〇）年、一旦佐渡を経て越後へ、本間丈助氏（赤館村庄屋）並びに家人、中村・永島氏ら数名と共に当地（川井）に移住した。

時に慶長元（一五九六）年、この地での開基となる。その際、長善は佐渡から越後の野積浜がまはらに上陸、猿ヶ馬場より東方を望み、「見渡せば、霞う津つまく蒲原がまはらや、いざ立ち寄らん、玉村の里」と詠じ「榎の大樹」があるこの地に至り、草庵を結んだという。



長善寺本堂（ポストカード）

現任職で、初代より数えて第二十代（開基より十七代）目となり、過去幾多の苦難を乗り越えて現在に至る。
尚、木造本尊の裏書によれば、当寺が大谷派笠原本誓寺（上越市寺町）と関係があった所、何らかの事情により、明暦三（一六五七）年に本願寺派へ転派している。

今後の予定（会場記載がないものは新潟別院で行います）

※新型コロナウイルス感染症の拡大で中止や延期となる場合がございます。ご確認の上、お申込み・ご参加ください。

・映画「赤倉ホテルの念佛ばあちゃんく有縁講のあゆみく」上映会

日時 三月十八日（水）十四時～十六時三十分
会場 江南区文化会館 音楽演劇ホール
参加費 チケット代五〇〇円

・新潟教区仏教婦人会連盟研修総会

日時 五月二十九日（金）十時二十分～十五時（予定）
テーマ 未定
講師 西原 祐治さん（仏教婦人会総連盟講師）

・本願寺新潟別院御取越報恩講

日時 六月二十五日（木）～二十七日（土）
講師 花岡 静人さん（本願寺派布教使・奈良教区勝光寺）

編集後記

早いもので、広報部会長として遠慶の編集に携わらせていただいた二年が経ちました。良い笑顔をお届けしたいという思いから、写真にも出来るだけ笑顔が写るものを選び、皆様との絆を深めたいと頑張っていました。
いつも教区の活動に参加くださっている皆様、読んでくださっている皆様のおかげでやり通すことが出来たと思います。また紙面が共に教えを慶ぶ一助となりましたら幸いです。
ありがとうございました。

三条組至徳寺衆徒 宗村 泰行

ラジオ法話 新潟教区布教団による ラジオ法話

F Mながおか 八〇.七 毎週月曜～金曜 十六時十五分よりの放送中です。
（放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、見附）

編集／浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会
〒九四〇―二四〇二 新潟県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新潟別院内
TEL: 〇二五八七二二二二〇 FAX: 〇二五八七二二二五三六